

## 達成状況評価書(平成24年度)

部局名: 連合小児発達研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、5大学を接続した遠隔講義システムを用いた講義を行い、加えて講義映像をアーカイブすることにより、自学自習環境を整備するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。全導入科目(14科目)及び全演習科目(10科目)の授業アンケートを実施し、高い回収率(78.5%)を得るとともに、担当教員へのフィードバックと一部授業においては授業改善を要求するなど、積極的に取り組んでいる。また、5大学連合で新たに連合小児発達学研究所「学生相談体制」を設置し、各種悩みや相談、要望事項等に対応する体制を整えるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、千葉大学及び福井大学が連合小児発達学研究所へ参画したことにより、より一層、子どものうつ病、養育者支援、認知行動療法に係る研究を推進し、その実践に取り組むことが可能となるなど、適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、注視点検出装置を用いた自閉症診断補助法の開発において、佐賀市の1.6歳時健診にて実装研究を開始し、また堺市、池田市などの自治体と協定を結び、発達障害児支援の問題点を指摘し、改善策を自治体に具申するとともに、自治体と協力し専門職、または市民向けにセミナー等を開催するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、平成23年度からの子どものこころの発達研究センターによる教育研究事業の5大学化に続き、5大学による連合小児発達学研究所を設置し、組織と事業の強化を図るなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、5大学による連合小児発達学研究所の設置、各大学を接続した遠隔講義システムを用いた講義の実施など、組織と事業の強化を図り、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>